

**【本質的な問い】**

なぜ面積を学ぶのだろうか。

**【単元名】**

倉橋っ子が遊べるグラウンドの面積は？  
～いろいろな形や広さの面積を求めよう～ 「面積」(啓林館)

**【単元を貫く問い】**

どんな形でもどんな広さでも面積を求めることができるのだろうか。

**【目指す児童の姿】**

面積について、単位と測定の意味を理解し、面積の単位や図形を構成する要素に着目して面積の求め方について考え、根拠を基に論理的に表現することができる。

**【学習過程】(全 14 時間)**

○個別の問い ・主な学習活動

**【深い学びへつなぐ「しかけ」】**

**第4次(3時間)**

実行 振り返り

**○生活の中で活用できないか。**

- ・パフォーマンス課題を解決し、理解を深める。
- ・本単元で学んだことを振り返る。

- ・学習したことを活用して、単元を通した課題(パフォーマンス課題)を解決させる。
- ・学んだことをもとに単元を貫く問いについて、単元全体を振り返らせ、新たな問いを見出すことができるようにする。

**第2・3次(9時間)**

情報の収集 整理・分析

まとめ・創造・表現

**○長方形や正方形の面積を計算で求めることができるか。**

**○複合図形の面積を計算で求めることができるか。**

- ・公式を理解し、長方形や正方形や複合図形の面積を求める。 【本時】

**○面積の単位にはどんなものがあるか。**

**○1㎡はどんな大きさなのか。**

**○単位間にはどんな関係があるか。**

- ・いろいろな面積の単位を知り、単位間の関係を理解する。
- ・算数的活動を行うことで面積についての量感を身に付ける。

- ・前時との違いを見付けさせることで、問いを児童自らがつくることができるようにする。
- ・図と式を使って自分の考えを友達に説明したり、式から友達のを理解したりすることを通して、思考を深めさせる。
- ・算数的活動を通して、面積の単位と測定の意味について理解を図るとともに、操作活動を取り入れ、面積についての量感を身に付けさせる。
- ・毎時間、視点を明確にして振り返らせることで本時の学びをメタ認知させ、主体的に学習に取り組めるようにする。

**第1次(2時間)**

課題の設定

**○面積とは何か。**

- ・広さ比べを通して、面積の表し方や、求め方について調べていくという単元の課題をつかむ。
- ・面積について解決してみたいこと調べてみたいことを出し合う。

- ・「テニスコートをどう動かすと、もっと広いグラウンドで遊ぶことができるかな。」という単元を通した課題(パフォーマンス課題)を設定し、単元のゴールを明確にし、見通しをもたせ、自らが解決したいという意欲を持続させる。

**【児童の実態】**

- ・指示されたことはやり切ろうとするが、見通しをもって主体的に学習をしようとする児童は少ない。
- ・解決の過程を、図や式や言葉の式で表すことができるようになってきている。
- ・図や式や言葉の式などの根拠を基に、論理的に表現することを苦手としている児童が多い。